

## 1-5 中心市街地活性化基本方針

### (1) 基本方針の背景

中心市街地活性化に向けて、中心市街地の課題を踏まえ、これまでの2期にわたる基本計画で創出したりんご並木周辺等を軸とした高質なストックを活かすとともに、さらなる賑わいと交流、定住を促す事業を中心市街地全体へと展開することにより、「飯田美しき町 魅力的な丘のまちの形成」を目指すこととする。

基本方針の背景として、まちづくりは住民、事業者、関係機関が将来像を共有し、当事者意識を持ち共創の場で策定した経緯を踏まえ、様々な住民、事業者、関係機関の参加と協力を得て、自主的・自立的な取り組みとして共に実行していくことを基本とする。

「みんなの10年行動計画(2020～2029)」は、中心市街地の関係地区の住民に加え、中心市街地で活躍している団体、NPO法人、事業者等が参加する「飯田丘のまち会議」において、まちのビジョンと今後の中心市街地のあり方や取り組むべき事業を共有した行動計画となっている。

本計画では、中心市街地全体への展開を目指し、「みんなの10年行動計画(2020～2029)」における5か年の実行支援となる取り組みを中心に推進していくものとする。

### (2) 中心市街地活性化の基本理念

リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の全通がもたらす大交流時代を迎えるにあたって、人口減少、少子高齢化を踏まえ、中心市街地(中心拠点)が持つ「資源や環境」の一つ一つに磨きをかけるランドスケープデザインの視点により、美しく、居心地の良い暮らしと交流・学びの空間の実現を目指す。

中心市街地活性化の基本理念

**「飯田美しき町」 魅力的な丘のまちの形成**

### (3) 中心市街地活性化の基本的な方針

中心市街地活性化の基本理念を踏まえ、4つの基本的な方針を設定する。

基本方針1 美しき丘のまちの賑わい風景づくり

基本方針2 多世代の連携と共創による魅力づくり

基本方針3 居心地の良い暮らしが息づくまちづくり

基本方針4 リニア時代に向けた求心力のあるまちづくり

■ 中心市街地の課題、基本理念、基本的な方針

【中心市街地の課題】			
りんご並木を軸とした 中心市街地全体への 活性化の波及	都市福利施設の充実に よる第3の居場所づく り、多世代交流の推進	地区と市民・各種団体 による空き家・空き店舗 活用の実行組織・仕組 みづくり	丘の上の歴史資源を 活かしたまちなかへの 求心力と回遊性の創出
りんご並木を中心とした 整備や商業集積により、 利用者は増加しているが、 中心市街地全体への回遊 向上には至っていないこと から、滞留と回遊を生み出 す整備・活用が重要である。	市民活動や民間事業によ り賑わいが創出され、多 世代交流の場として、第 3の居場所づくりが求め られていることから、産官 学民連携による事業の推 進と市民活動の支援が重 要である。	空き家・空き店舗活用の 実行組織・仕組みづくり の構築が求められている ことから、新たなライフ スタイルに適応したまちな か居住環境整備が重要と なっている。	リニア時代を踏まえ、都 市圏からの来訪者が魅力 を感じ、来訪・滞在・滞 留を生み出すまちなかの 資源の磨き上げにより、 求心力と回遊性の向上が 重要である。

【中心市街地活性化の基本理念】

「飯田美しき町」 魅力的な丘のまちの形成

【中心市街地活性化の基本的な方針】			
美しき丘のまちの 賑わい風景づくり	多世代の連携と共創 による魅力づくり	居心地の良い暮らし が息づくまちづくり	リニア時代に向けた 求心力のあるまちづくり
●りんご並木と桜並木 整備、春草通りを軸と した魅力向上 ●りんご並木、商店街、 飯田駅前に至る回遊 性の向上	●若い世代と市民団体が 交流しやすい環境整備 や支援 ●多世代が集う第3の 居場所づくりの推進	●空き家・空き店舗活 用の実行組織・仕組 みづくりによる多様な 業種が創業できる環 境づくり ●新たなライフスタイル に対応した居住環境 づくり	●歴史・文化資源を活 用したまちなかの魅 力の向上 ●リニア駅から飯田駅、 まちなかを結ぶ求心 力と回遊性を創出す る活動の推進